

(一社)愛知県歯科技工士会 ADTA セミナー  
生涯研修・基本研修課程学術講演会

演題: I『厚生労働省令改正の意義と歯科技工士の展望』

演題: II『総義歯の人工歯排列と咬合のコンセプトについて』

主催 : (一社)愛知県歯科技工士会

日時 : 平成 25 年 8 月 25 日 (日) 10:00~12:00

場所 : (一社)愛知県歯科技工士会館 1F 大会議室

参加費 : 会員・学生:1,000円 非会員5,000円 定員60名

講師:佐藤幸司 先生

(公益社団法人)日本歯科技工士会生涯研修認定講師

佐藤補綴研究室(オッセオインプラントラボセンター)

(講演抄録)

近年、歯科医療の発展と共に歯科技工を取り巻く環境も変革期にあります。歯科技工における構造設備基準のガイドラインが平成 25 年 4 月 1 日より一部省令改正の施行となり、臨床総義歯学もエビデンスを求めたより客観的な臨床術式が求められています。そこで8月25日(日)の生涯研修では、前半を厚生労働省令改正の意義と歯科医療における歯科技工の将来展望について、また歯科技工士の方向性や会組織の重要性を皆様と共に考察してみたいと考えています。後半は、世界の医療先進国においてグローバルスタンダードとなりつつあるBPSのガイドラインと臨床補綴システムについて紹介し、より客観的で臨床症例に応じた人工歯選択と咬合様式を力学的、生理学的な観点から臨床的に考察する予定です。そこで症例別に異なる歯槽軸(Axis)に調和した咬合と人工歯排列のガイドラインについても考察できればと考えています。また残留モノマーの少ない品質管理された最新の重合システムについても考察したいと考えています。現在、欧米の歯科大学・歯学部でも総義歯臨床学・インプラント臨床補綴学における上部構造の技工・有歯顎および無歯顎補綴のガイドラインとして採用されている新しい咬合の考え方についてご紹介する予定です。

より客観的な総義歯臨床のコンセプトと総合的な臨床技工のガイドラインについて考察してみたい。

時間の許す限りご参加戴いた皆様と共に、今回のテーマであります省令改正の意義と総義歯の臨床的ポイントについて考察し、実り有る生涯研修にしたいと考えています。